

執筆者紹介

登り山和希	長崎ウエスレヤン大学現代社会学部准教授
水野敦子	九州大学経済学研究院准教授
中岡深雪	北九州市立大学基盤教育センター准教授
高屋和子	立命館大学経済学部教授
辻美代	流通科学大学教授
許海珠	国士舘大学政経学部教授
金澤孝彰	和歌山大学経済学部教授
佐々木保幸	関西大学経済学部教授
北波道子	関西大学経済学部教授
北川亘太	関西大学経済学部准教授
井澤龍	滋賀大学経済学部准教授

教 授**ご活躍の足跡**
(2018年1月～12月)**稲葉 大**
論 文

- (1)「最適失業保険の導入効果についての経済実験：CrowdFlowerを用いた実作業オンライン予備実験」(小林創氏他との共著)『関西大学経済論集』第67巻第4号、関西大学経済学会、pp. 343-357、3月刊。

Working Paper (Discussion Paper)

- (1)“Lean Against Bubble versus Clean UP After Bubble Collapses in a Rational-Bubble Model”
The Economic Society of Kansai University, Working Paper F-87, June (with Tomohiro Hirano, Jun Aoyagi).

植村 邦彦**資料・その他**

- (1)「今、マルクスに学ぶ——「資本主義の終わり」考える礎」『毎日新聞』大阪本社版 5月26日付夕刊、2面。

書 評

- (1)エリック・ホブズボーム著『いかに世界を変革するか——マルクスとマルクス主義の200年』(水田洋監訳、伊藤誠・太田仁樹・中村勝己・千葉伸明訳、作品社、2017年)『社会思想史研究』第42号、藤原書店、pp. 177-181、9月刊。

学会・研究会

- (1)“Commentary on Kohei Saito, Karl Marx’s Ecosocialism, New York: Monthly Review Press, 2017” 経済理論学会関西西部会、同志社大学、3月10日。
 (2)「韓立新報告「〈市民社会派マルクス主義〉の市民社会論および現代中国に対する意義—望月清司氏『マルクス歴史理論の研究』を中心に—」へのコメント」 経済学史学会第82回大会共通論題「日本経済思想の貢献1968-2018」、東京大学、6月3日。
 (3)「ホブズボームのマルクス・エンゲルス論—第I部を中心に—」 経済学史学会関西西部会第174回例会、大阪工業大学梅田キャンパス、7月14日。
 (4)「市民社会と民主主義—社会思想史の視点から」 進化経済学会第2回「現代日本の制度」部会、関西大学梅田キャンパス、11月17日。
 (5)「マルクスにおける資本主義と奴隷制」 経済学関係7学会(経済理論学会/経済学史学会/社会思想史学会/基礎経済科学研究所/マルクス・エンゲルス研究者の会/唯物論研究協会/信用理論研究学会) 合同企画マルクス生誕200年記念国際シンポジウム「21世紀におけるマルクス」、法政大学、12月23日。

宇都宮 浄人**論 文**

- (1)「地方創生と鉄道」『信用金庫』第72巻第1号 pp. 22-28、1月刊。
 (2)「続 新規投資で鉄道再生—欧州からの報告」『交通新聞』2月7日－9日。
 (3)「都市交通のネットワーク統合—海外における導入経緯と効果」『研究シリーズ No.50 都市鉄道ネットワークに関する考察』 関西鉄道協会都市交通研究所、pp. 47-59、3月刊。
 (4)「地域公共交通政策の課題」『汎交通』29年度第4号、pp. 84-91、3月刊。
 (5)「鉄道サービスの課題—訪日旅行者の視点を踏まえて」『JR 経営情報』第351号、5月刊。
 (6)「北欧のLRT」『路面電車 EX』通巻11号、pp. 114-122、5月刊。
 (7) The value of local railways: An approach using Contingent Valuation Method, Research in

Transportation Economics, Available online, June.

- (8)「地方鉄道は再生できるのかーオーストリアの事例を踏まえて」『都市問題』第109号、pp. 25-33、6月刊。
- (9)「地域交通とソーシャル・キャピタルー『生活意識調査』、『くるくるバス調査』による実証一」『運輸政策研究』第21巻、ウェブ早期公開版 8月刊。
- (10)「大西洋のLRT」『路面電車EX』第12号、pp. 98-106、10月刊。
- (11)「『交通まちづくり』がもたらす豊かな成熟社会」『CEL』通巻120号、pp. 40-45、11月刊。

学会・研究会

- (1)「地域鉄道の広義社会的便益」経済統計学会関西支部例会、立命館大学、5月19日。
- (2)「交通まちづくりと効果を考える～オーストリアの現状と政策を踏まえて～」京都大学こころの未来研究センター研究会、京都大学、7月24日。
- (3)「オーストリアにおける地域鉄道の財政支援構造」日本交通学会研究報告会、青山学院大学、10月7日。
- (4)「オーストリアの地域鉄公共交通政策一政策とその効果」日本交通学会関西支部会、中央電気倶楽部、11月2日。
- (5)「地域公共交通再生の課題～オーストリアの現状と政策を踏まえて～」学堂研究会、同志社大学、11月10日。
- (6)「地方鉄道のレールボーナス：オーストリアにおける実証」土木計画学研究発表会、大分大学、11月25日。

講演会

- (1)「オーストリアの地域公共交通政策」日本政策投資銀行勉強会、日本政策投資銀行、6月18日。
- (2)「地域公共交通の統合的政策を考える～欧州の地域再生を踏まえて～」連合北海道「地域公共交通を考えるPT」第3回講座、北海道自治労会館、6月25日。
- (3)「オーストリアの交通まちづくり+地域鉄道の広義社会的便益研究報告」ルネッセ・セミナー、CEL都市魅力研究室、7月2日。
- (4)「地域創生と公共交通～交通まちづくりの新展開～」内外情勢調査会・岡山支部講演会、ホテルグランヴィア岡山、7月18日。
- (5)「地域公共交通政策の課題～オーストリアの実例を踏まえて～」日本交通協会西日本講演会、ホテルグランヴィア大阪、8月6日。
- (6)「地域創生と交通まちづくり～オーストリアの事例を踏まえて～」ひめじまちラボ講演会、じばさんビル、9月13日。

榎原正澄

論文

- (1)「学校給食における地産地消の現状と課題ー大阪府内の学校給食調査を中心としてー」（赤井洋子氏他との共著）『関西大学経済論集』第67巻第4号、関西大学経済学会、pp. 285-341、3月刊。
- (2)「農協法改正とJAの「自己改革」の課題」『関西大学経済論集』第68巻第3号、関西大学経済学会、pp. 45-59、12月刊。

春日秀文

論文

- (1)“Does aid affect inequality?” (co-authored) Applied Economics 50, pp. 6249-6262, July.

片山直也

学会・国際会議 (Conference Papers)

- (1) "A Model of Rational Bubbles with Additive Outliers". Kagawa International Symposium, 香川大学 3月。

北原 聡

論文

- (1) 「戦間期九州地方における貨物自動車輸送一九州南部を中心に」『関西大学経済論集』第67巻第4号北川勝彦先生退職記念号、関西大学経済学会、pp. 199-209、3月刊。

学会・研究会

- (1) 「近代日本の電信・電話に関する近年の研究動向」郵政歴史文化研究会第4分科会、郵政博物館資料センター、3月27日。

北波道子

論文

- (1) 「戦後初期台湾の農地改革と四大企業払い下げについて」『関西大学経済論集』第67巻第4号、関西大学経済学会、pp. 157-180、3月刊。

後藤健太

著書

- (1) 『現代アジア経済論—「アジアの時代」を学ぶ』遠藤環・伊藤亜聖・大泉啓一郎・後藤健太(編)、有斐閣、3月刊。

分担執筆

- (1) 「キャッチアップ型工業化」国際開発学会(編)『国際開発学事典』丸善、pp. 388-389、11月刊。
 (2) 「アジアの新ダイナミズムと日本の発展戦略」『アジア太平洋と関西—関西経済白書〈2018〉』アジア太平洋研究所、pp. 80-85、10月刊。
 (3) "New developments of middle-income economies in a diverse and multipolar Asia" in Kansai and the Asia Pacific: Economic Outlook 2017-2018, Osaka: Asia Pacific Institute of Research (Maruzen Planet), pp. 87-91, June.

論文

- (1) 「アジア経済の新展開と日本—「多極化」と「接続力」を軸とした試論的考察—」『同志社政策科学研究』、同志社大学政策学会 19(2)、pp. 1-10、3月刊。
 (2) 「アフリカの経済統合—アジアとの比較から見える課題と展望—」『関西大学経済論集』第67巻第4号北川勝彦先生退職記念号、関西大学経済学会、pp. 181-198、3月刊。
 (3) 「ベトナム電子産業とグローバル・サプライチェーン—競争力強化と社会的責任のある経営・雇用戦略—」『DIO』31(4) (336号)、連合総研、pp. 9-12、4月刊。

書評

- (1) Book Review. Industrial Organization in Iran: The Weakly Organized System of the Iranian Apparel Industry by Yoko Iwasaki, Singapore, Springer, 2017, vii + 102 pp. Developing Economies 56(2), pp. 145-148, June.

講演会

- (1) PREX シンポジウム・コーディネーター「チェンジメーカーが社会を変える」～SDGs: わたしたちにできること～、太平洋人材交流センター、大阪、5月7日。
 (2) 「ベトナム電子産業とグローバル・サプライチェーン—競争力強化と社会的責任のある経営・雇用戦略—」ILO 活動推進議員連盟 (ILO 議連) 講演、参議院議員会館、東京、6月7日。

- (3)「[「アジアの世紀」の持続的発展戦略—競争と共生を目指して] 大阪工業協会 第33回理事会における講演、大阪、7月11日。
- (4)「SDGs時代のビジネス：企業の社会的責任と調達—ビジネスチャンスを逃さないための責任ある調達対応—」関西SDGsプラットフォーム、大阪、7月19日。
- (5)「グローバル化時代における労働CSRと競争力の強化について」全日本金属産業労働組合協議会、第22回「海外での建設的な労使関係構築」国内労使セミナーにおける講演、東京、7月31日。
- (6)「SDGs時代のビジネス：企業の社会的責任と競争力」はりま産学交流会「創造例会」姫路市、10月19日。

小林 創 論文

- (1)「最適失業保険の導入効果についての経済実験：CrowdFlowerを用いた実作業オンライン予備実験」（稲葉大氏他との共著）『関西大学経済論集』第67巻第4号、関西大学経済学会、pp. 343-357、3月刊。

榊原雄一郎 論文

- (1)「観光列車による地域活性化に関する一考察；内発的発展の分析視覚から」（藤田知也氏との共著）『関西大学経済論集』第68巻第1号、関西大学経済学会、pp. 11-26、6月刊。

Working Paper (Discussion Paper)

- (1)「東北自動車クラスター内での取引の形成についての調査研究」Working Paper J-48、4月刊。

坂根宏一

Working Paper (Discussion Paper)

- (1)「不完全競争下での一般均衡の漸近安定性と価格振動」Working Paper J-49、9月刊。

佐々木信彰 著書

- (1)『転換期中国の企業群像』（佐々木信彰編著）晃洋書房、5月刊。

分担執筆

- (1)「まえがき」佐々木信彰編著『転換期中国の企業群像』晃洋書房、pp. i - iv、5月刊。
- (2)「自動車生産の大転換期と上海汽車集団」佐々木信彰編著『転換期中国の企業群像』第3章、晃洋書房、pp. 31-44、5月刊。

佐藤方宣

分担執筆

- (1)「ロールズと経済学史—『正義論』へのナイトの影響が意味するもの」井上彰編著『ロールズを読む』第10章、ナカニシヤ出版、pp. 237-257、10月刊。

資料・その他

- (1)「外国人労働者の働き方にも配慮を（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、1月。
- (2)「働き方改革と人生のモデル（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、3月。
- (3)「ハラスメントと経済環境（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同

通信、5月。

- (4)「災害への社会的な対応力（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、7月。
- (5)「分散の社会的な重要性（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、9月。
- (6)「働き方改革の将来（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、11月。

書評

- (1) 桑田学著『経済的思考の転回—世紀転換期の統治と科学をめぐる知の系譜』（以文社、2014年）『歴史と経済』第241号、政治経済学・経済史学会、10月刊。

佐藤雅代

分担執筆

- (1)「病気になったらどうなるか—健康保険制度—」石田成則・山本克也編著『MINERVA スタートアップ経済学⑨ 社会保障論』第6章、ミネルヴァ書房、pp. 141-159、6月刊。
- (2)「社会的公正と税制—税制（所得分配の不平等）と税制—」林宏昭・楊華編著『日本の税制論』第2章、清文社、pp. 21-47、12月刊。

新熊隆嘉

Working Paper (Discussion Paper)

- (1) “Alternative Explanation for Resource Curse” The Economic Society of Kansai University, Working Paper F-89, November (with Robert D. Cairns).

鈴木智也

論文

- (1) “Business Cycles in Post-Conflict Serbia: The Cycle Is the Trend”, *Eastern European Economics* (Taylor & Francis), Volume 56, Issue 4, pp. 292-306. [研]
- (2) “Permanent Productivity Shocks, Migration and the Labour Wedge: Business Cycles in South Africa”, *Macroeconomics and Finance in Emerging Market Economies* (Taylor & Francis), Volume 11, Issue 3, pp. 290-303. [研]
- (3) “Corruption, Interest Rates and Business Cycles: Comparison of Emerging Economies”, *Economic Change and Restructuring* (Springer), Volume 51, Issue 4, pp. 303-316. [研]

学会・研究会

- (1) “Permanent Productivity Shocks, Migration and Labour Wedge: Business Cycles in South Africa”, the 44th Eastern Economic Association Annual Meeting, Boston, USA, March 1-4.
- (2) “Counterfactual Inflation-Targeting in Nepal”, the 17th International Conference of the Japan Economic Policy Association, Fujisawa, Japan, October 27-28.

竹下公視

論文

- (1)「東アジアの地域秩序と社会経済システム—中華文明の観点から—」『関西大学経済論集』第68巻第3号、関西大学経済学会、pp. 61-80、12月刊。

書評

- (1) 柏原宏紀著『明治の技術官僚：近代日本をつくった長州五傑』（中央公論新社、2018年4月25日発行）『関西大学経済論集』第68巻第2号、関西大学経済学会、pp. 51-59、9月刊。

谷田則幸

論文

- (1)「社会システムシミュレーションの方法と様々な応用」『関西大学経済論集』第67巻第4号北川勝彦先生退職記念号、関西大学経済学会、pp. 147-156、3月刊。

学会・研究会

- (1)“Create the Status of Social Exclusion using Agent-Based Simulation and WEB Survey Data”, ICBI2018, The Grand Hotel Taipei, Taipei, Taiwan, June 25-27, (co-authored).

土居潤子

Working Paper (Discussion Paper)

- (1)“A Numerical Analysis on Optimal Tax Policy in a rent-seeking Economy” (with Yoshimasa Aoki and Yoshiko Hanada), Working paper series F-86, Economic Society of Kansai University.

学会・研究会

- (1)“Immigration Conflicts” (with Laixun Zhao) The CUFE-Kobe Joint Workshop: Trade & the Chinese Economy, 神戸大学、3月19日。
 (2)“A Numerical Analysis on Optimal Tax Policy in a rent-seeking Economy” (with Yoshimasa Aoki and Yoshiko Hanada) 第52回 KMSG 研究会、明治学院大学、2月26日。
 (3)“A Numerical Analysis on Optimal Tax Policy in a rent-seeking Economy” (with Yoshimasa Aoki and Yoshiko Hanada) Pan Pacific Conference in Economic Research, アメリカ、3月26日。
 (4)“A Numerical Analysis on Optimal Tax Policy in a rent-seeking Economy” (with Yoshimasa Aoki and Yoshiko Hanada) 74th Annual Congress of the International Institute of Public Finance, フィンランド、8月22日。

中川竜一

論文

- (1)「保険会社の貸出における横並び行動」『関西大学経済論集』第68巻第2号、関西大学経済学会、pp. 1-25、9月刊。

Working Paper (Discussion Paper)

- (1)“Stability of Sunspot Equilibria under Adaptive Learning with Imperfect Information” 『Economic Society of Kansai University Working Paper Series』No.F-88, 11月刊。(McGough, B. との共著)

学会・研究会

- (1)“Stability of Sunspot Equilibria under Adaptive Learning with Imperfect Information” (McGough, B. との共著) Summer Workshop on Economic Theory (SWET), 北海道大学、8月4日。

中澤信彦

分担執筆

- (1)「政府の「なすべきこと」と「なすべからざること」—ケインズはムーアとバークから何を学んだのか—」只腰親和・佐々木憲介編著『経済学方法論の多元性—歴史的視点から—』第10章、蒼天社出版、pp. 313-340、7月刊。

論文

- (1)“Reviewing Edmund Burke’s Concept of ‘Revolution’: An Overlooked Aspect of the Burke-

Paine Controversy”, *Studies in Burke and His Time*, Volume 27, The Edmund Burke Society of America, pp. 41-55, 8月刊。

書評

- (1)「Steven Kates, *Defending the History of Economic Thought* (Edward Elgar, 2013年)」『経済学史研究』第59巻第2号、経済学史学会、pp. 185-186、1月刊。

学会・研究会

- (1)“Reviewing the Development of Malthus’s Reformist Ideas from 1803 to 1806”, Kyoto Conference on Classical Political Economy, 同志社大学, 3月7日。
- (2)「サウジーのマルサス批判—「貧民の敵」マルサス像の起点を探る—」(王量亮氏との共著) マルサス学会大会、尾道市立大学、7月1日。
- (3)「ミルトン『失樂園』とマルサス『人口論』—間テクスト的読解の試み—」(小沢佳史氏との共著) 経済学史学会西南部会、福岡女学院大学、7月14日。
- (4)“Milton’s *Paradise Lost* and Malthus’s *An Essay on the Principle of Population*: A Neglected Intertextuality” (joint with Yoshifumi Ozawa), The History of Economic Thought Society of Australia, Curtin University, Perth, 9月28日。
- (5)「インターネット・AI時代を生きる大学生のための経済学史・思想史教育とは?—関西大学・沖縄国際大学・小樽商科大学での講義経験からの考察—」保守的自由主義研究会、大阪市立大学、10月20日。
- (6)「サウジーのマルサス批判—「貧民の敵」マルサス像の起点を探る—」(王量亮氏との共著) 社会思想史研究会、同志社大学、12月22日。
- (7)「バーク美学思想の経済思想史的含意について」経済学方法論フォーラム、関西大学、12月27日。

長久領志

論文

- (1)「マンション建て替えにおける保証金付き多数決ルールの投票均衡：逐次投票の場合」(高谷真城氏との共著)『関西大学経済論集』第68巻第1号、関西大学経済学会、pp. 1-10、6月刊。
- (2)「部屋の配分問題：強コアルールとTTCメカニズム」『関西大学経済論集』第68巻第3号、関西大学経済学会、pp. 1-17、12月刊。

西村雄志

論文

- (1)“The Activities of International Banks in Asia before 1913”『関西大学経済論集』第67巻第4号 北川勝彦先生退職機年号、関西大学経済学会、pp. 211-226、3月刊。

橋本恭之

分担執筆

- (1)「地方税体系と地方財政の役割」『日本の税制論』(林宏昭・楊華編著、清文社)第3章、pp. 48-64、12月刊。

論文

- (1)「ふるさと納税返礼品規制についての検討：北海道下自治体を中心に」『関西大学経済論集』第67巻第4号、pp. 385-397、3月刊。

学会・研究会

- (1)「ふるさと納税制度と国・地方の財政」日本財政学会第75回大会、香川大学、10月20日。

講演会

- (1)「地方税改革のあり方について」東京都税制調査会第1回総会：有識者ヒヤリング、5月18日。

橋本紀子**論文**

- (1)「生計費調査から見る日本の世帯構造の変化—「埼玉県最低生計費調査」を巡るSNS上の反応を巡って—」『関西大学経済論集』第67巻第4号北川勝彦先生退職記念号、pp. 129-146、3月刊。

学会・研究会（単独での発表）

- (1)「子育て世代のくらしと消費」関西大学経済学会第34回夏期研究大会、関西大学カンファレンスルーム（第2学舎1号館3階）、7月18日。

学会・研究会（共著を、他の著者が発表）

- (1)“An Empirical Analysis of Cultural Demand and the Structure of Household Expenditure”, 20th International Conference on Cultural Economics, Melbourne, 28 June.

林 宏昭**著書**

- (1)『日本の税制論』（林宏昭・楊華編著）、清文社、12月刊。

分担執筆

- (1)「地方財政と財政健全化」柴健次編著『財政の健全化と公会計改革』第2章、(関西大学出版部)、pp. 41-77、3月刊。
 (2)「土地と課税」『日本の税制論』（林宏昭・楊華編著、清文社）第4章、pp. 65-87、12月刊
 (3)「税制改革とその展望」『日本の税制論』（林宏昭・楊華編著、清文社）第10章、pp. 200-221、12月刊。

論文

- (1)「個人住民税の検討」『地方自治法施行70周年記念 自治論文集』（総務省）、pp. 481-493、3月刊。
 (2)「所得課税論の再考」『関西大学経済論集』第67巻第4号北川勝彦先生退職記念号、pp. 117-127、3月刊。

ペドロ ラボウズ**学会・研究会**

- (1)“New Research Perceptions between Africa and Asia: Is it Too Early for an Afro-Asian View of the World” アフリカ・アジア研究イニシアティブ第1回、同志社大学、4月28日。
 (2)“Research Perceptions between Africa and Asia: Is it Too Early for an Afro-Asian View of the World” 第34回夏期研究大会、関西大学、7月18日。
 (3)“Japan - South Africa Commercial, Diplomatic and Economic Interactions before the Second World War” Japan-Cape Town Centenary Celebration, Wallenberg Research Center (STIAS) Stellenbosch University, South Africa, Cape Town, August 4th.
 (4)“Evolution of Japan’s FDI and Japanese companies contribution to the development of industrialization in Africa” Japan-Cape Town Centenary Celebration, Wallenberg Research Center (STIAS) Stellenbosch University, August 4th.
 (5)“The Multiple Faces of the Silk Road Template: Implications for Africa from a Defragmentation Perspective” World Social Science Forum (WSSF) 2018、京都大学、9月25-28日。

- (6) "Small Peasants: The Missing Link in the ProSAVANA Triangle" International Workshop
New Asian Approaches to Africa: Rivalries and Collaborations、立命館大学、11月10日。
- (7) "Is South-South Cooperation important for Mozambican Agriculture? The Case of ProSavana"
社会経済史学会近畿部会、関西大学、12月8日。

講演会

- (1)「アフリカ経済の現状とその「質」」神戸大学グローバル・イシュー、神戸大学、10月15日。

前川聡子

分担執筆

- (1)「税と経済成長 - 日本における所得税・法人税負担と経済成長の関係 -」林宏昭・楊華編著『日本の税制論』第1章、清文社、pp. 2-21、12月刊。

松尾精彦

論文

- (1)「プロ野球ペナントレースシミュレーション」『関西大学経済論集』第68巻第3号、pp. 19-44、12月刊。

准教授

ご活躍の足跡
(2018年1月～12月)

岡田啓介

論文

- (1) “Health and Political Regimes: Evidence from Quantile Regression” *Economic Systems* 42 (2), pp. 307-319, June.

Working Paper (Discussion Paper)

- (1) “Transparency and Natural Resource in Sub-Saharan Africa” The Economic Society of Kansai University, Working Paper F-84, March (with Takayoshi Shinkuma).
 (2) “Trade Liberalization, Technology Diffusion, and Productivity” MPRA Paper No. 88597, August (with Keiichi Kishi).

学会・研究会

- (1) “Transparency and Natural Resource in Sub-Saharan Africa” (with Takayoshi Shinkuma) 第二回 関西学院大学-KIER シンポジウム「グローバル化と不確実性の経済分析」、関西学院大学、1月7日。
 (2) “Transparency and Natural Resource in Sub-Saharan Africa” (with Takayoshi Shinkuma) 応用マクロ経済学セミナー・マクロ経済学・経済システム研究会、京都大学、2月16日。

柏原宏紀

著書

- (1) 『明治の技術官僚』中央公論新社、4月刊。

論文

- (1) 「明治零年代後半における洋行官僚に関する一考察」『関西大学経済学論集』第67巻第4号北川勝彦先生退職記念号、関西大学経済学会、pp. 249-264、3月刊。

学会・研究会

- (1) 「参議兼工部卿伊藤博文と工部省」明治維新史学会例会、明治大学、11月10日。

講演会

- (1) 「長州五傑と明治維新一大阪での活躍に注目して」関西大学おおさか文化セミナー、関西大学梅田キャンパス、5月9日。

北川亘太

分担執筆

- (1) “Sustainability of a Business System beyond a Firm” Panon (think tank for strategic studies - Osijek) ed. *Sustainable Development Today: Book of Abstracts*, Alberta, Osijek, p. 2, September.

論文

- (1) 「商品企画における対話—サービス・ドミナント・ロジックの観点から」『関西大学経済論集』第67巻第4号、関西大学経済学会、pp. 399-432、3月刊。
 (2) “Uniqueness of Cumulative Causation in J. R. Commons’ Institutional Economics” *Kansai University Review of Economics*, No. 20, pp. 19-42, March.
 (3) “Political Government and Economic Government in J.R. Commons’ Institutional Economics” *Économie et institutions*, No. 26, Special Issue: Institutionalist Approaches of Money, pp. 1-21, July.

Working Paper (Discussion Paper)

- (1) "Advancing Dialogue in Service Dominant Logic: Collective Reframing Supported by Framed Arrangement" Economic Society of Kansai University Working Paper No. F-91, March (co-authored with Ryo Izawa).
- (2) "Conversion of Academic Knowledge from Tool to Norm in Business Agencement" Economic Society of Kansai University Working Paper No. F-87, April.
- (3) "Places of the Collective in Dialogical Value Creation from the Perspective of Service-Dominant Logic" Economic Society of Kansai University Working Paper, No. F-90, December (co-authored with Ryo Izawa).

学会・研究会

- (1) "Two Methods of Institutional Reformations in Institutional Economics of J.R. Commons" Association for Evolutionary Economics, Annual Meeting, Loews Philadelphia, Philadelphia, Pennsylvania, USA, January 6th.
- (2) 「非物質的生産における学術的知識の役割—道具から規範へ」進化経済学会制度と統治部会、阪南大学あべのハルカスキャンパス、3月20日。
- (3) 「遂行性と配置再編—研究者・言明・エージェントの相互関係」進化経済学会九州大会、九州大学箱崎キャンパス、3月29日。
- (4) "Conversion of Academic Knowledge from Tool to Norm in Business Agencement" Society for the Advancement of Socio-Economics, 30th Annual Meeting, Doshisha University, Kyoto, June 23th.
- (5) 「企画業務を参与観察して見えてきたこと」京都大学大学院経済学研究科 制度的経済動学セミナー、8月26日。
- (6) 「J.R. コモンズの1890年代における貨幣制度改革論」京都大学大学院経済学研究科 制度的経済動学セミナー、9月10日。
- (7) "Sustainability of a Business System beyond a Firm" Interaction of Science and Economy in Japan and Croatia: Sustainable Development Today, Vinkovci and Osijek, Croatia, September 17th.
- (8) "Capturing Reconstitutions of Markets from the Perspectives of Convention, Actor-network, and Valuation" Workshop of French and Japanese Convention Theorists, Osaka City University, Umeda Satellite, October 13th.

講演会

- (1) 「IG メタルの組織拡大戦略」JAM 組織変革ワークショップ事前学習会、伊東、6月12日。

熊谷幸久**分担執筆**

- (1) 「スコットランドの自由貿易運動」島田竜登編著『1789 自由を求める時代』第四章、山川出版社、pp. 184-226、9月刊。

論文

- (1) "The Making of the 'Free Trade Nation': The Opening of the East India Trade and the British Manufacturing Industry, 1790s-1830s" 『関西大学経済論集』第67巻第4号北川勝彦先生退職記念号、関西大学経済学会、pp. 227-247、3月刊。

神江沙蘭**学会・研究会**

- (1) "Germany's Compromises? The European Central Bank's Changing Roles in the Context of the

Euro Crisis（日本語報告）”比較政治学会報告、東北大学、6月24日〔研〕。

講演会

- (1)「分散型の金融ガバナンスから銀行同盟へ：欧州統合と金融市場の安定性」第57回駒場国際政治ワークショップ、東京大学、7月6日。
- (2)“The Politics of Integration: Unbalanced Development of the European Financial and Monetary System” ベルリン参事会金融委員会（Senatsverwaltung für Finanzen Berlin）、ドイツ（ベルリン）、3月5日〔研〕。

座主祥伸

分担執筆

- (1)「将来財産の担保化と研究開発」（佐藤 育己氏との共著）『担保法制と資金調達』第3章、法学研究所研究叢書第57冊、3月刊。
- (2)「内部担保制度の重要性：外部担保との比較」同上第4章、法学研究所研究叢書第57冊、3月刊。

学会・研究会

- (1)“The Effects of the Registrations on Collateral Choice and Start-up Incentives”, 14th Asian Law & Economics Association (AsLEA) conference, Singapore Academy of Law. 8月17日。
- (2)“The Effects of the Registrations on Collateral Choice and Start-up Incentives”, WINIR 2018 Conference, Chinese University of Hong Kong. 9月15日。

溝端泰和

Working Paper (Discussion Paper)

- (1)“Firm Heterogeneity and the Dynamics of Credit Rationing in Japan” KIER Discussion Paper Series, Kyoto Institute of Economic Research, No.1000.〔研〕

学会・研究会

- (1)「ESGを考慮した資産価格評価モデル」日本経済政策学会第75回全国大会、同志社大学、5月26日－5月27日。（発表者：石島博氏、前田章氏、討論者：溝端泰和）
- (2)“Firm Heterogeneity and the Dynamics of Credit Rationing in Japan” 経済学研究科火曜研究会、名古屋市立大学、6月19日。〔研〕
- (3)“Firm Heterogeneity and the Dynamics of Credit Rationing in Japan” 第1回プロジェクト研究会、京都大学総合研究二号館第二会議室、7月14日。〔研〕
- (4)“Factor Adjustments and Liquidity Managements: Evidence from the Japanese Lost Two Decades (co-authored)” The INCAS annual conference 2018, Japanese-German Center Berlin, 9月20日－9月21日。〔研〕
- (5)“Firm Heterogeneity and the Dynamics of Credit Rationing in Japan” The 17th International Conference of the Japan Economic Policy Association, Keio University, 10月27日－10月28日。〔研〕
- (6)“Firm Heterogeneity and the Dynamics of Credit Rationing in Japan” Monetary Economic Workshop, Kansai University, 11月17日。〔研〕

助 教

ご活躍の足跡
(2018年1月～12月)

岸 慶一

Working Paper (Discussion Paper)

- (1) “Trade Liberalization, Technology Diffusion, and Productivity” (co-authored) 『MPRA Paper』
Munich University Library, August.

学会・研究会

- (1) “Trade Liberalization, Inefficient New Entrant, and Productivity” 小野研究会、大阪大学 社会
経済研究所、7月26日。
(2) 「貿易自由化と生産性」 育志賞研究発表会、弘済会館、9月6日。
(3) “Trade Liberalization, Inefficient New Entrant, and Productivity” 国際経済学セミナー（応用マ
クロ経済学セミナーと共催）、京都大学、12月21日。

小嶋健太

学会・研究会

- (1) “Successful Jobs and Dead-end Jobs in a Bureaucracy: Evidence from Japan” (with Katsuya
Takii) 関西労働研究会、大阪大学、3月23日。[研]
(2) “Successful Jobs and Dead-end Jobs in a Bureaucracy: Evidence from Japan” (with Katsuya
Takii) OSIPP Economics Brownbag Seminar, 大阪大学、6月20日。[研]
(3) “An Empirical Analysis of Career Path in Japanese Courts” (with Fumitoshi Moriya) 「公益学
+経済学」4 大学合同ワークショップ、東北公益文科大学、9月15日。[研]
(4) “Successful Jobs and Dead-end Jobs in a Bureaucracy: Evidence from Japan” (with Katsuya
Takii) 産業・労働ワークショップ、一橋大学、11月20日。[研]